

総合防除（IPM）を行うために利用できる防除技術（飼料作物）

作物名	病虫害名	防除技術
飼料作物 (イネ科牧草)	雪腐小粒菌核病	1 抵抗性品種を栽培する。イタリアンライグラスでは、ナガハヒカリが本病に対して強い。 2 排水をよくする。 3 適期には種する。根雪前に十分株を作っておく。 4 窒素の多用を避け、リン酸、カリを併用する。 5 年内に刈り取る場合は遅刈りをしない。 6 連作を避ける。
	冠さび病	1 ほ場の乾燥を防ぐ。 2 発病を認めたら早めに刈り取る。 3 早播きする場合、抵抗性品種を栽培する。イタリアンライグラスではエースが強い。
	かさ枯病	1 イネ科牧草の連作を避け、2 か年以上他の作物を栽培する。 2 刈遅れないようにする。 3 被害茎葉を畑に残さないようにする。
	すじ葉枯病	1 刈遅れないようにする。 2 オーチャードグラスでは、ポトマックが強い。
	アワヨトウ	1 m ² 当たり 50 頭以上発生すると被害が大きくなるので、ほ場を見回り早期発見を行う。被害が見え始めたら、早めに刈り取る。
	イネヨトウ	被害が見え始めたら、早めに刈り取る。
飼料作物 (マメ科牧草)	白絹病	連作を避ける。
	葉腐病	1 連作を避ける。 2 刈遅れによる過繁茂倒伏を防ぐ。 3 イネ科牧草と混播する。
	菌核病	1 連作を避ける。 2 発生を認めたら早めに刈り取る。
	アブラムシ類	厚播きを避ける。
	オカモノアラガイ	1 刈り遅れによる過繁茂な状態にしない。 2 発生を認めたら早めに刈り取る。
飼料作物 (飼料用トウモロコシ)	アブラムシ類	厚播きを避ける。
	アワノメイガ	1 遅播にならないようにする。 2 窒素過多に注意する。
飼料作物 (牧草地全般)	コオロギ類	コオロギの巣となりやすい枯葉や刈倒した草を放置せず、草地を清潔に保つ。